

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



DISTRICT 360

ICHISABURO YAMADA

THE CHUKYO SOGO BANK, LTD.
3-33-13, SAKAE, NAKA-KU
NAGOYA, JAPAN 460-91

山田市三郎

国際ロータリー第360地区 ガバナー事務所
名古屋市中区栄三丁目33-13
中京相互銀行7階

No.11 APRIL 15, 1976

●ガバナー月信 第11号 昭和51年4月15日

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！

■第360地区ロータリークラブ会長幹事殿

洋蘭とクラブ創立周年祝典

国際ロータリー第360地区ガバナー 山田市三郎

伊那谷の地は、信州でもっとも美しい神域であります。木曾山脈と赤石山脈とが縦走する中央を、天竜川は諏訪湖に源を発して、神代の昔から悠々としづかに流れております。

早春の天竜峡ぞいにのぼってまいりますと、枯林の梢をこえてはるかに、白雪を頂いて聳ゆる笑う深山が旅人を迎えてくれます。この南面を見るような美しい自然のふところに抱かれて、飯島ロータリークラブが誕生し生々発展し、地域への奉仕に精進しているのです。

去る3月28日に創立10周年記念式典を挙行されて、私は出席いたし、祝詞を述べる機会をあたえられました。

このクラブは創立会員24人で今なお34人、飯島町、中川村をテリトリーとする山間のクラブであります。全員参加の下、奉仕の理想にもえ、地域に密着したというよりも地域そのもののような奉仕活動を実践され、地域の個人や団体に多大の恩恵をあたえられました。

式典並びに祝宴の会場は、会員の経営する辰巳屋建設会館であり、花屋を営む会員の真心のこもる洋蘭の花がふんだんに飾られ、芳香は馥郁と堂に漂っていました。

煙火は紺碧の空にうちあげられ、ボーイスカウトの吹奏する楽の音は、会場の空気を和やかに盛りあげました。

来賓として、地元の町村長始め各種公職者の殆んどを網羅し、報道関係者も多く、婦人会員の顔も見られました。各種の記念事業の発表は感銘すべきものでありました。

テリトリーの人口は1万数千人に過ぎず、創立10年にして会員は34人を数えるのみで、将来急速に増加することも考えられない、山間の小クラブであります。出席率は100%をつづけ、財団への寄与率、特に多数のフェロー、準フェローの誕生は賞讃すべきものであります。

式典の雰囲気が見事に示すように、テリトリーの住民が一致してこのロータリークラブを支援する態勢は、伊那谷のたぐいまれな自然美の中に育った人々の裏にこそ見出しうるところで、煙火の爆音、若人の吹奏する楽の音に、日本的ロータリーの真髄を聞く心地がいたしました。

素朴ではありますが、この飯島ロータリークラブこそは、天竜川とともに永久に存在する価値あるクラブと信じます。

■国際ロータリー第360地区尾張第二分区 I. G. F. 開催



日 時 昭和51年 3 月 7 日
 会 場 尾張旭市市民会館
 ホストクラブ 尾張旭ロータリークラブ
 リーダー 大竹和美尾張第二分区代理
 アドバイザー 鮎谷賢太郎直前ガバナー
 稲垣 実 (名古屋)
 川瀬 保 (名古屋南)
 特別出席者 藤原 正男ガバナーノミニー
 パネリスト 川島 勇 (尾 西)
 箕田 能夫 (一 宮)
 青木 清 (稲 沢)
 早川富次郎 (瀬 戸)
 佐伯 恭二 (尾張旭)

プログラム概要

9 : 30 ~ 9 : 55 登 録
 10 : 00 点 鐘
 10 : 20 ~ 10 : 30 ガバナー、フォーラムリ
 ーダー挨拶
 10 : 30 ~ 12 : 00 フォーラム (社会奉仕、
 青少年奉仕)
 12 : 00 ~ 13 : 00 休 憩
 13 : 05 ~ 15 : 15 フォーラム (国際奉仕、
 職業奉仕、クラブ奉仕)
 15 : 35 ~ 16 : 05 アドバイザー及び特別出
 席者所見
 16 : 05 ~ 16 : 15 ガバナー講評
 16 : 35 点鐘、散会

○
 尾張第2分区代理

大 竹 和 美

I. G. F. 開催にあたりましては、山田ガバ
 ナーご指導のもと、尾張旭RCの神谷会長、加

藤守幹事を中心に、綿密にして周到な計画、準
 備が進められ、当日はクラブ一丸となつての行
 き届いた運営が行なわれ、お陰で私自身、勉強
 不足と不慣れのため、上りっぱなしの司会でし
 たが、楽しく一日を過ごす事が出来ました。

山田ガバナーからは過分のお言葉を頂戴し、
 感謝致しました。気楽にやれた因は

先ず第一に、年度始めより山田ガバナーのご
 方針に沿い、行動させて頂いたため、すでに各
 クラブの方々と顔馴染みになっており、いわ
 ば内輪同志の様な気持ちでフォーラムにのぞめ
 た事。

そしてガバナーより、他分区の例も教えて頂
 き、タイムのコントローラーをお願いした事。
 ブザーもほほえましくてよかったと思います。

第二にパネリストの方々に恵まれました。事
 前に十分の回数と時間をかけて Meeting の機
 会をもち、打合わせが出来た事です。すべて尾
 張旭RCの会長・幹事さんがお膳立をしてくれ
 ました。

第三は贅沢すぎるほどのすばらしいアドバイ
 ザーに恵まれた事です。事前にガバナー事務所
 で赤津地区幹事さんから色々とアドバイスを頂
 いた事が非常に幸いでした。

クラブ名	51.2.29 現在会 員数	フォー ラム登 録数	クラブ名	51.2.29 現在会 員数	フォー ラム登 録数
あ 尾 一 宮 稲 大 春 小	66 42 87 72 53 65 73 53	21 12 15 12 42 9 17 9	江 南 名古屋空 西春日井 瀬 戸 津 島 尾 張 旭	58 65 51 69 69 42	12 15 51 14 21 41
			14クラブ	865	291

■国際ロータリー第360地区三河第一分区 I. G. F. 開催



日 時 昭和51年 3月21日
 会 場 豊橋グランドホテル
 ホストクラブ 豊橋ロータリークラブ
 リーダー 小森久夫三河第一分区代理
 アドバイザー 安野 譲次パストガバナー
 鮎谷賢太郎直前ガバナー
 藤原 正男ガバナーノミニー
 パネリスト 山本籌三郎(豊 川)
 野沢東三郎(豊橋北)
 清水 芳二(豊橋北)
 伴野 隆二(豊橋南)
 真智 哲夫(田 原)
 山本 智央(豊橋南)

プログラム概要

9:00~9:50 登 録
 10:00 点 鐘
 10:00~10:08 斉唱「君が代」、「奉仕の理想」
 10:03~10:08 開会の辞
 10:08~10:11 会長挨拶並びに特別出席者紹介
 10:11~10:14 参加クラブ紹介
 10:14~10:19 ガバナー挨拶
 ガバナー 山田市三郎
 10:19~10:25 フォーラムリーダー挨拶
 並びにパネリスト紹介
 分区代理 小森 久夫

部 門 別 討 議

10:25~11:05 会務奉仕A
 山本籌三郎(豊川RC)
 (出席 例会 親睦
 (SAA プログラム))

11:05~11:45 会務奉仕B
 野沢東三郎(豊橋北RC)
 (会員増強 職業分類
 会員選考)
 11:45~12:25 会務奉仕C
 清水芳二(豊橋北RC)
 (R情報 会報 広報(雑誌))
 12:25~13:15 昼 食
 13:15~13:55 職業奉仕
 真知 哲夫(田原RC)
 13:55~14:35 国際奉仕(世界社会奉仕
 財団 米山を含む)
 山本智央(豊橋南RC)
 14:35~14:50 休 憩
 14:50~15:35 社会奉仕(青少年を含む)
 伴野隆二(豊橋南RC)
 15:35~15:40 フォーラムリーダー挨拶
 分区代理 小森久夫
 15:40~15:55 講 評
 ガバナー 山田市三郎
 15:55 次期ホストクラブ発表
 分区代理 小森久夫
 次期ホストクラブ会長挨拶
 閉会の辞
 斉唱「手に手つないで」
 点 鐘

16:10

クラブ名	51.2.29 現在会 員数	フォー ラム登 録数	クラブ名	51.2.29 現在会 員数	フォー ラム登 録数
渥 美	45	20	豊 橋 南	55	24
蒲 郡	71	20	豊 橋 川	62	25
奥 三	37	16	豊 橋	104	103
新 河	46	22			
田 城	48	22			
豊 橋	94	30	9 クラブ	562	282

1976年3月1日付

●親愛なるロータリアン各位：

人間の尊さを固く信ずることがロータリーにおいて、エルネスト・イムバサイ・デ・メロ会長の「人間に威信を！」というテーマのもとに強調されてまいりました。世界は各国民間の相互理解、食糧の需要と供給、幼少年の教育、全世界にわたる資源の再評価等々、膨大な範囲に及ぶ問題に直面しております。イムバサイ会長はこれを次のように観察しておられます。「疑いもなく私共の時代は困難な時代です。人類の生活に対する脅威は日増しに圧倒的になっています。そして、今や全人類が危険にさらされ危急存亡の瀬戸際に立っています。この挑戦に対して、われわれは良心と責任ある指導力を結集してこれに当らなければなりません。われわれは、この挑戦を受ける社会構造の一部なので、われわれは、もっと積極的に邁進しなければなりません」。

「われわれは、もっと積極的に邁進しなければなりません。」これが課題の最重要点なのです。ロータリーは、世界各国各地の地域社会における事業界、職業界のリーダーによって構成され、世界中でも極く少数の組織団体しかその部類に属さない、恵まれた立場にあるのであります。この立場から、ロータリーこそ、他のどの組織団体よりも、もっと積極的に、全世界の地域社会において人間の威信を高める活動をするのであります。その故に「われわれはもっと積極的に邁進しなければなりません。」の呼び声が高らかに鳴り渡っているのです。

●職業別協議会

米国、ルイジアナ州ニューオーリンズでの国際大会は来る6月13～17日に開催されます。長年にわたり、国際大会で最も人気のある大会行事の一つは職業別協議会であります。

多くのロータリアンは、この協議会を大会に参加した最も有益な体験となる行事だと言って

おられます。

1976年国際大会における職業別協議会は55種類のグループに分かれて行なわれます。類似した職業に従事するロータリアンが会合して、自分達の職業にて職業奉仕の精神をどのように生かしていくかについて意見を交換する機会となります。この協議会はまた、世界中の同業ロータリアンとの知己を深める機会ともなります。1976年国際大会での職業別協議会は、6月16日（水）午後2時30分から4時30分までと予定されています。

●職業奉仕と社会的責任

日本国内各地区の地域機関誌であるロータリーの友では、昨年その英語版を創刊し、この新刊誌の第2号に、かつてその日本語版に掲載された職業奉仕と社会的責任について8名のバストガバナーのご意見を翻訳して転載しています。その中で、一人の方は次のように述べておられます。「ロータリーの職業奉仕が社会的責任を当然に伴っていることは議論の余地はないであろう。それでは何故、今になって、社会的責任が問題になるのかといえは、職業奉仕はとにかくロータリーの奉仕活動のなかで一番分らないといわれながら、社会の要請に対して、本当の職業奉仕が実践されていないからではなかろうか。」

職業奉仕の基本的精神を述べるに当たってロータリーの綱領は、「社会的責任」という字句は使っておりませんが、「ロータリアン各自が職業を通じて社会に奉仕するためにその職業を品位あらしめること。」と、この社会的責任の要旨に触れております。職業奉仕がロータリアンの職業生活を通して、各自の社会的責任を果すのに役立つのは、生活環境を汚染から守り、職場を浄化し、地域社会のすべての人々が各自の役割を全うし、その生活の発展をはかることができるように社会に奉仕する努力を意味するからであります。

● 会員増強の指針

一地区ガバナーからの報告に次のような一節がありました。「他の奉仕クラブの多くは、活動もするがその宣伝もし、どんどんと若い優秀な会員を入会させている。われわれはこの若い会員を入会させることでは大分後れをとっている。若い会員が少ない、わが地区内のクラブの10年先のことを思うと身震いがする。われわれの社会奉仕の殆んどが金銭による事業なのは、ここにその理由がある。即ち、われわれのクラブには実際に活動するエネルギーとその意欲を備えた若い会員が十分におらないのである。これがロータリーの評判を悪化し、「おとしよりのクラブ」のイメージを与えているのだ。」

国際ロータリー事務局では、各クラブの会員増強委員会のために、パンフレット第37号「ロータリー・クラブ会員増強の指針」を作成いたしております。このパンフレットには貴地区内各クラブにおいて、現クラブ会員の実態を分析検討し、クラブの健全な成長を維持するのに必要な増強目標を確立するのに役立つ表示法などが示してあります。また会員増強に関する問題を討議し、各クラブでその解決に使用されている方法も解説してあります。就いては各クラブがこのパンフレットを注文、活用して健全な会員の増強に乗り出すようにご奨励願います。

● 転勤者の通知

職業や事業の関係で転勤、移転する人々の中には、多数のロータリアンも含まれます。それらの会員の中には転勤先の地域社会で再びクラブ会員となり、ロータリー会員の資格を維持しておられる方もあります。そのように転居された先のクラブに入会できた会員の中には、元所属していたクラブの幹事が、その会員、又、ロータリー全体のことを思って、転勤先にあるクラブの幹事へ、国際ロータリーが用意している「貴地域社会へ移転するロータリアンに関する通知状」（書式第6464-J号）を発送したが故に入会できた方が何人かあるのであります。

就いては 貴地区内の各クラブ幹事に対して

● グアテマラの地震罹災者の救済

去る2月4日、グアテマラのグアテマラ・シティー並びにその近郊一帯を揺り動かした強烈な地震は、何千人もの人命を奪い、何万人にも及ぶ負傷者を出し、何万人かの人々が家屋と生活のすべを失うという膨大な被害を及ぼしました。就いては同地の罹災者への救援資金や物資を送付しようとしておられるクラブは下記宛に発送されるようご通告願います。

The Emergency Committee of the
Rotary Club of Guatemala City,
c/o Landivar University, Zone 10,
Guatemala, Guatemala.

なお、粉末食糧、殺虫剤、抗生物質、医療物資など救援物資は無税で通関、配達されます。

も、この通知状の送付を習慣にするようご奨励願います。引退、転勤等による会員の喪失を補填する方法となるのであります。

● 地区大会プログラムに財団奨学生を起用

貴地区大会のプログラムを考案されるに当たり、留学を終えて帰国した財団奨学生、或いは現在、貴地区に留学中の奨学生、或いは、研修を終えて帰国した研究グループ交換チーム員が提供し得る地区大会プログラムでの役割を見逃がさないようにして下さい。

又、もしも海外からの研究グループ交換チームが貴地区大会の時期に貴地区を訪問中の場合には、チームを大会へ招待して、財団に関するプログラムの効果を倍加されることもできます。これらは皆、国際間の理解を推進し、世界中に平和と友好をひろめることを目的とするロータリー財団へ投資されたロータリアン各位のご寄付に対する「配当」であり、財団プログラムの推進に此上ない方法となるのであります。

● ロータリーの世界の注文のお勧め

貴地区内のクラブ並びにロータリアンに対して、本ロータリー年度の終り、6月30日までに

注文されるならば、ロータリーの世界を1部6ドルで購入できることを再度お知らせ願います。7月1日をもって、このロータリーにおける新刊書は印刷、郵税、手数料などの値上げから、1部につき7ドルに値上げされます。地区ガバナーの皆様は今後の地区大会或いは地区協議会にて貴地区内のクラブやロータリアンに1部につき6ドルで頒布するため、多量一括購入して、地区内会員への便宜をお計らいになることができます。

●他に類のないロータリーの車輪

米国、オハイオ州、トレド・ロータリー・クラブの会報に、ロータリーの車輪の徽章がもつ誇りと、利他的奉仕活動の指針、象徴として各ロータリアンに自覚をもたせる意義についての記事が出ておりました。ご紹介申し上げます。

「ロータリーの車輪は、ロータリー独特のもので、他にその類はありません。この車輪には外輪もなければタイヤもなく、車の跡をつけることも、きしむこともありません。この車輪は奉仕活動の象徴として、静かに回転、前進し、偉大な高速道路或いは淋しい小路の道標として、旅行者を歓迎し、何万かの会員にとっては、毎週一回、仕事とその緊張から解放されて楽しむ一時間の例会を意味し、四つのテストの意義を教え、社会のために最善を尽くして奉仕することを要請しています。この車輪は、人々の胸と心に響くものを有し、時には奇跡をもたらすことさえあるのです。そして、この車輪は、意義ある活動と平和を望む心において世界中の人々を結びつけているのであります。」

1976年4月5日付

●親愛なるロータリアン各位：

ロータリー運動が創始されたのと、ほぼ同じ頃、奴隷として生れ、後、米国における改革の徒となり教育者となったブッカー・T. ワシントンは、「如何なる人種も、畑を耕すことにも詩を書くのと同等の尊さがあるのだ、ということを書得するまで繁栄することはない。」と書きしるしております。

これと同じ考え方が、エルネスト・イムバサ

イ・デ・メロ会長の「人間に威信を！」というメッセージにも含蓄されています。この会長プログラムは、地域社会において、職業生活において、また国際的な分野において、長年にわたり伸展し続けているロータリー奉仕の歴史に由来するのであります。

ロータリーで「畑を耕す尊さ」を重んずる職業奉仕の分野では、数々の精細な無名の奉仕でもって、ロータリアンの同僚並びに従業員の双方に威信をもたらす活動が盛んに実践されております。イムバサイ会長が「われわれの行動の尊さをはっきり示すために、それぞれの実業人または職業人としての活動を捧げること。またわれわれの生活の質の向上をはかるために、われわれの知識を活用すること。」を要請されたとき、会長は全ロータリアンに対して、職業奉仕の理想を、実生活において実践することを公布されたのであります。

ロータリアンは職業奉仕の問題に関する限り、その最前線を躍進すると同時に、このロータリーの奉仕部門は、全ロータリアンを、労働、所得、職業の尊重、生活の質の向上、優秀従業員への報酬など、職業生活における根本問題と取り組むことに対決させるものなのであります。

そして、職業道德の水準の向上をはかることに、全員力を合わせて努力し、励むことによって、ロータリーは、社会のいろんな組織に価値を与える理想に燃える人間の育成をなし続けていくのであります。

●組み合わせ地区と組み合わせクラブ・プログラム

国際ロータリー理事会は、1976年7月1日付をもって実施する、世界各国の人々の間の相互知識の啓発と協調をはかり、国際間の理解と友好と平和の増進を目的とした、組み合わせ地区及びクラブ・プログラムを設定いたしました。

理事会は、各地区及びクラブの組み合わせを含む、本プログラム実施についての基本計画を承認いたしております。その参加、実施は各クラブの随意として、全クラブへ提案される本プログラムの詳細は、各クラブにて本プログラム

を1976～77年度より着手するのに十分間に合うように発表されることになっております。

● 貴地区協議会の最終点検

貴地区協議会が計画通りに円滑に行なわれるように、その準備の最終点検をする時がまいりました。故に次のその主な点について調べておられますようにお勧めいたします。

- 協議会で使用する文献資料類、展示用の物品、聴視覚用資料の使用に要する映写機、テープレコーダーなどの準備は整っていますか？
- 各種の会議室や食堂など施設の準備万端は整っていますか？
- 地区内全クラブから、出席指定役員全員が参加するように、でき得る限りの参加奨励活動が実行されたでしょうか？ 今一度出席義務役員全員参加の重要性を強調し、参加するという確答をしないクラブに対しては、もう一度、最後の説得を試みる必要があります。
- 協議会プログラムの全般について、次期ガバナーに伝え、十分に協議、相談されましたか？ この協議会に参加して研修を受ける方々は、次期ガバナーの年度に各クラブの役員として活躍しなければならない人達であることを念頭において、次期ガバナーとの協調をお願いします。

● 追悼記念寄付と遺産贈与による財団支持

ロータリー財団では、ロータリアン並びにその他のの方々より、しばしば、ロータリー財団の目的を更に推進させるための支援方法についての問合わせを受けます。

その方法には、いろいろあります。個人個人で直接ご寄付下さる方法に加え、多数の方々には、亡くなられた家族や友人の徳をたたえて追悼記念寄付をされ財団の諸活動をご支援下さっておられます。

世界平和の実現を要望されていた方の徳を末長くたたえる方法としてもロータリー財団はそのような記念事業の対象として誠に相応しく此

上ない方法となります。亡くなられたロータリアンやその他のご遺族が故人を追悼し、感謝の誠を示すものとして、これほど有意義な方法はありません。この種のご寄付を領収した場合、財団は、ご寄付下された方へはお礼の書状を呈し、ご遺族へは、そのご寄付があったことをお知らせ申し上げることにいたしております。

ロータリアン、或いはロータリアンでない方でも遺言状をもって、その人の生涯を通しての有意義な活動を継続させ伸展させる、今一つの方法があります。そのような遺言状による財団への遺産贈与をされる場合には先ず弁護士の助言を求め、「米国イリノイ州、エバンストンに本部を置く、教育的、博愛的、及び慈善的目的の非営利団体である国際ロータリーのロータリー財団管理委員会」をその受益者に加え、指定されることであります。

上記、二つの方法で領収するご寄付金は、ご寄付下さる方が指定されたロータリー・クラブへクレジットされ、そのクラブのパーセンテージ順位の上昇にも寄与することになります。

● 優秀な寄付成績に対し追加教育補助金の授与

ロータリー財団は、下記を基準にして、1975—76年度中に優秀な寄付成績を記録された地区に対し、1978—79年度教育補助金を追加授与することになっています。

地区内会員1人当り 平均寄付額	追加補助 金口数
米貨 \$ 6.00～\$ 8.99	一口
9.00～ 19.99	二口
20.00～ 34.99	三口
35.00以上	四口

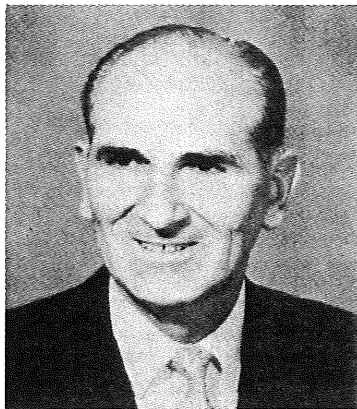
これらの追加補助金は、寄付成績に関係なく全ロータリー地区に受領資格のある教育補助金一口に加えて授与されるものです。なおまた、各地区は、上記のほかに身障者教師奨学金に対し1名の候補者を推薦することができます。この教師奨学金は、口数が限定されており、全世界から提出された候補者のうち、最も優秀な教師約120名に対して授与されます。

■1977～78年度 R. I. 会長ノミニー変更

ジャック・デービス氏に決定

先に1977～78年度 R. I. 会長ノミニー指名委員会により同年度 R. I. 会長ノミニーに指名されたボルフガング・ウィック氏が健康上の理由で、同ノミニー指名を辞退しました。

このため、前記委員会では、改めてバーミューダのハミルトン RC 会員 W. Jack Davis (ジャック・デービス) を同年度会長ノミニーに指名しました。



ジャック・デービス氏は、Bank of N. T. Butterfield & Son, Ltd の重役で、最近ま

でハミルトン市の有力商社、Pearman 商会の重役を務めておりました。氏はカナダ生れで教育はカナダと米国で受けております。

公職歴・バーミューダ商工会議所会頭、バーミューダ・クレジット協会会長、バーミューダ乗用車・トラック販売協会会長を歴任、現在 Willowbank 財団および Heydon 財団の理事でもあります。

ロータリー歴・1943年バーミューダ RC 入会、同クラブ会長、地区ガバナー、R. I. 理事、R. I. 第三副会長を歴任、現在米国・カナダ、バーミューダ地域 R. I. 諮問委員会委員

1978—79年度教育補助金申請書は1976年5月15日までに中央事務局へ提出願います。

●「超我の奉仕」の吟味

南アフリカのキムバリー・ロータリー・クラブの会報に「超我の奉仕」についての寄稿文が掲載され、このモットーの三つの面について論及してありました。

「『超我の奉仕』のモットーは、われわれがロータリーで、しばしば、用いる言語です——しかしこのモットーを時折、吟味してみる必要があります。

「まず、第一の要素は、奉仕は奉仕でなければならない、ということです。われわれの考えだけで他の人々の必要を判断し、その必要を満たそうとします。その必要がほんとうに他の人々の必要としていることか否かの吟味はしないことが多いのです。人々に自助自活の道を開拓させることが単にその場、その場の必要を満たすことよりも意義があることは自明の理です…

「第二は、奉仕を受ける人々の品位を傷つけてはならないということです…恩に掛くことなく、被救済者の感じを与えてはなりません。われらの奉仕をもって、それを受ける人達が各自の人格と価値に目覚めるように努めることは、衣食住を与えることよりも遥かにすぐれた奉仕なのです…

「最後に奉仕は、我を超越したものでなければなりません。ともすれば独善的で、義務に制圧され、われわれ自身を他の人々にとって不可欠のものとならしめ、他の人々を依存の立場から抜け切れない人達にまでしてう危険が潜在しているのです。」

●全世界のロータリー

1976年3月29日現在、ロータリーは151の国及び地域に16,721のクラブと約78万5千の会員を有します。地区数は357です。1975年7月1日以降、37カ国から225の新クラブが加盟いたしました。

■1975～'76年度も余すところ数カ月となりました。今月号から6月末号の4回にわたり、地区委員の方々にご登場願ひ、ご活躍のあとを振り返っていただき、業績やご感想をご投稿いただくことになりました。まず、分区代理の方々にお願いいたしました。

数多くの知己を得る

尾張第一分区代理 田辺 三郎



名古屋和合クラブ公式訪問にて

左から山田ガバナー・田辺分区代理

またたく間に9カ月が過ぎた。職業とロータリー任務との両立、不十分が両方に生じたが私自身には大きな収穫であった。特に山田ガバナーの人格に接する機会が多く、大変よい修練となり、また、恐らく普通では得られない数多くの会員の知己を得た。

名古屋市内RCと知多RCの格差をかねがね知っていたので、当初はこれを揃えることを計画したが、一概にどちらが良いかは定めかねてこれは断念した。それぞれに歴史があり、地域差があり容易に変えることはできない。また、変える必要のないのを知ったからである。

人間の生存率の伸長はシニヤー会員を今後急速に増加させるであろう。ただ、会員年数だけでシニヤーとするのは、その人のRC活動をおさえることになる。年令も70才とすべきではないか。

時期的に経済界不況で経費に対する問題が多かった。例会費が経費の半分以上を占め、奉仕活動に使える分が少なくなるので出費を抑える傾向にある。中でも間接経費（財団、本部、地区の拠出金）に対する明細、世界社会奉仕の有効度、国内奉仕との兼ね合い、財団寄付達成率への疑問をもつ会費が多い。一般に世相を反映しての問題が多く、経済の波がようやくロータリーにも及んできた感が強く、早くそのためにも不況の回復が望ましい。

各クラブとしてやり得ること、例えば出席率（100%はどうかと思うが）の悪いのに改めない。会報の体裁、内容が整わず会報の意義をなし得ない。予算決算のフォームが1年のところ、半年のところ、記載の仕方もまちまちで比較するのも容易でない。などの不満はあるが全体としては努力しているように見受けられる。

自分の努力不十分を謝し、ガバナー、地区幹事、各RCの会長始め会員の方々に厚くお礼を申しあげたい。

よき相談相手として

三河第一分区代理 小森 久夫



田原クラブ創立15周年記念例会にて

左から小森分区代理・森特別代表

1. 比較的若くて小さいクラブは目立つ様な派手さが無い反面、温かさなごやかさがあり、魅力を感じます。小さいクラブは純真でやる気十分であるが経費や交流、地域等の関係で活動の方法、手段に戸惑っているのが実情であります。

この様なクラブに対し、伸びるためのよき相談相手が果たして今まで常にあったであろうかと思う時、拡大という波間に産みっ放しにされた孤児のように思われ淋しい気になります。

私の分区の幾つかの小クラブではよき相談相手を渴望しています。非公式機関で権限も

ないし規定上の責任もないが、この相談相手こそ分区代理の積極的仕事の一つではないでしょうか。

2. ロータリーの画一的規制の改善策は何かないのでしょうか。

会員増強、広報活動等を始めとし 諸々の R. I. から出る内容は田舎の小クラブまで画一されており、これは本筋においては誠に結構ですが、クラブの自主制を認め乍ら一方で画一的に規制することは何とも実情にそぐわないと思われる。

日本ロータリーの機構が R. I. の方策を国情に合う咀嚼にまで加減できる仕組みになっていない今日、ガバナーとクラブの間にたつての相談相手は地域の実情やクラブの情勢を

よく知っている分区代理がその役目を果たすべきであるように思われます。

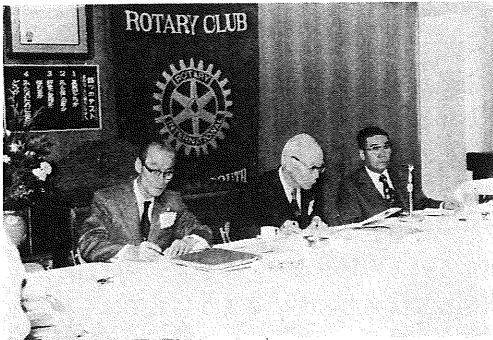
この点について山田ガバナーの公式訪問ではクラブの地域的關係や内部事情等もあるので画一指導ということに格段の配慮を払っておられたように感じました。

3. 任期も終りに近い9カ月を経た今日、静かに反省してみると前述の二つが頭に浮びましたが遅かりし由良之助で、これが出来なかったことを山田ガバナーと分区の皆様へ深くお詫びします。

山田ガバナーに色々ご教示賜わったことと稲垣地区委員長に、世界社会奉仕で格別お世話かけたことに対し、私の分区を代表し心から深く感謝します。

友 愛 と 感 謝

三河第二分区代理 渡辺末次郎



岡崎南クラブ公式訪問にて左から

渡辺分区代理・山田ガバナー・中嶋会長

分区代理は何の権限もないが、忠実なロータリアンとして、示されたいくつかの任務を果たさねばならぬ。と教えられて就任したのは昨日のように思えるのに、早や9カ月経過して残り僅かになった。暗中模索のうちに任期の大半を終え、その仕事の大部分を果たしたようである。

6月の地区協議会に始まって、10月には地区情報研究会。11月の年次大会に続いて、京都で R. I 会長を迎えてのアジア 第3ゾーン大会あたりまでは据膳のお客様気分に参加することの意義と楽しさにひたっていた。

しかし、後半近く、年末から2月中旬にかけては、その時期に集中したガバナー公式訪問と、自ら企画し実施せねばならぬ I. G. F. の準備に忙殺されることになり、ホストクラブの岡崎

東 R C の方々の非常な熱意と努力に助けられて着々準備が整いつつあった2月上旬、私の70年の生涯のうち始めての経験を…。安城 R C へのガバナー公式訪問の日、会長幹事懇談の席で突如貧血症状に襲われて倒れたのである。

勿論、例会にもアッセンブリーにも出席出来ず、メンバーのお医者様に手厚い看護を受け、大事に至らずに夕方まで静養させていただくと云う大変なご迷惑をおかけした次第であった。

全くこの時程ロータリーの有り難さを痛切に感じたことは今までに経験したことはなかった。その夕刻無事帰宅し、後2日程静養して常態に戻って刈谷、岡崎南各 R C の公式訪問を済まして、2月15日いよいよ I. G. F. の日を迎えたのである。

健康を売り物にしていた私もいささか心掛りであったが有り難いことに終日元気にフォーラムリーダーとしての責任を果たすことが出来たのは本当に幸わせであつたし、その裏に山田ガバナーの温いお心遣いとおはげましの言葉のあったことを忘れてはならないのである。

ガバナーには何のお役にも立たず、むしろご迷惑ばかりおかけしていたのに、常にご懇切なご高配とご指導を賜わったことには心から感謝申しあげる次第でございます。この様にして2月13日の岡崎南 R C のガバナー公式訪問を最後に、I. G. F. も無事終了したので残り3カ月を有意義に過ごすべく精進したいと念願する次第である。

忙しく飛び回る

南信第一分区代理 島 恒 治



松本西南クラブ公式訪問にて左から

島分区代理・山田ガバナー・渡辺会長

分区代理の仕事を整理してみると結構忙しく飛び回っていることに気がつく。第一回分区代理会議の時、山田ガバナーは何と人使いの荒い方だとも思ったが、過ぎてみればお蔭様で知合いが広まったことに感謝申し上げねばならない。

任期中は任務を果たすことに専念せねばと思いつながりながら、まとめてみると受命事項を実施したに外ならず、ガバナーの統率力を学ばねばならない。

南信第一分区で行なった事をご報告します。

1. 分区の会長幹事会を4回開催した。
(改善点) 従来松本地区、諏訪地区のグループ毎に行なわれていたが分区代理召集9クラブ会議とした。(正副会長幹事集合)
2. 半日講習会

分区代理の記録より

南信第二分区代理 桃沢 茂雄



7月5日、ホテルニユーナゴヤに於て第一回地区分区代理会議が開かれ、ガバナーに対する協力事項の取決めが行なわれました。その取決めに基づいてインバツサイ会長の強調

された「各自其の分を尽すこと」に従い行動を開始したのですが、既に本年度も6カ月を経過

松本南RCの新会員教育行事に分区クラブの副会長、幹事、副幹事が参加、教育のやり方について研修。

3. 国際委員長会議（稲垣地区世界社会奉仕委員長指示）

地区世界社会奉仕活動に参加のため分区の共通事項、行事の確認。

4. プログラム委員長会議

各クラブ楽しい例会のためのプログラムの作り方、講演者の紹介、あっせん。

5. 地域限界の確認会議

地域拡大、増強について関係クラブ会長幹事会。

メリットとしては

- ① 分区共通問題の協議、例えばビジターフィゲスト講演者謝礼、ガバナー公式訪問準備、ガバナー指示事項、地区行事の確認等。
- ② クラブ独自の新会員の教育指針が得られた。
- ③ 1500弗が集まりR. I.と直接連絡がとれ身近に感ずる。(難民中・古衣料の送付輸血用血液冷蔵庫等)
- ④ ゲスト、スピーカーの情報入手が容易となる。
- ⑤ 増強、拡大の参考になる。

I. G. F. は分区代理の重要事項で、ホストの諏訪クラブのお世話で4月4日行なわれた。以上は、ガバナー公式訪問随行時、クラブ協議会における要望事項又は単独クラブ訪問時、理事役員の方よりのお話の中よりその一部を実施した。

しI. G. F. 以外の諸事業はその大半が実施されております。以下、その要点のみ列記致します。

7月23日～8月6日、ガバナー公式訪問前に分区代理の資格において、分区内8クラブに対し事前訪問を行ない、ガバナーの横顔、ガバナーの方針、地区の行事等について伝達。

8月10日、各クラブ事前訪問の結果につきガバナーへ報告書提出。

8月18日、分区内8クラブの顔合わせを兼ね会長幹事会を開きガバナー公式訪問、分区の事業、次年度I. G. F. ホストクラブについて意見

の交換を行ない、I. G. F. は飯田 RC に決定。

8月23日～10月1日、飯田 RC から始まり辰野 RC で終ったガバナー公式訪問に分区代理の資格で出席。

9月5日、区内プログラム委員長会を開き各クラブの計画を発表願ひ、意見の交換、更に卓話者を互に紹介し合い、分区代理が纏めて各クラブへ知らせる事とする。

8月28日、飯田南 RC をホストとして開かれた分区のソフトボール並びにマージョン大会に出席、奉仕の機会として知り合いを広めるための広場にして欲しいと要請。

10月23日、区内国際委員長会を開き分区毎に行なう事になっている、世界社会奉仕事業に付き地区委員長から示された、プロジェクトの中から MSCDP №1219 インド向け井戸掘り用ポンプ資金援助に協力する事に決定。

12月19日、360地区世界社会奉仕委員長より要請のあったパキスタン難民に対し、子供用中

古衣料を各クラブ毎にラワルピンジー RC へ直接郵送する様協力要請。(2月19日調べ8クラブ会計39梱包発送済)

1月13日、分区パスト分区代理会を開き分区の現況につき意見の交換。

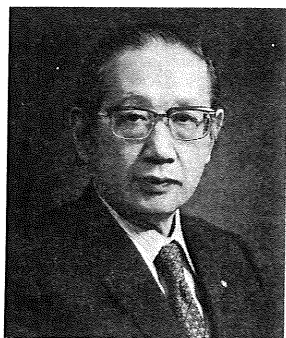
2月18日、分区幹事会を開き I. G. F. の議題に付検討、各クラブより提出された議題案を要約、議題を決定の外 I. G. F. への協力要請。また、公式訪問時のガバナーのアドバイス事項については年度後半において必ず実施或は改善される様要請。

3月3日、I. G. F. パネリストの会合を開き、幹事会において決定された議題に付討議の内容及び進め方につき検討。

3月31日、I. G. F. のホスト辰野 RC を訪問、理事会と I. G. F. 実行委員会の合同会議に出席、I. G. F. の準備及び運営並びに前日打合会に付協議。

少しでも分区のために

東北信分区代理 夏目幸一郎



ロータリーに入って十数年、いまだにその何んたるかを会得するに至らず文字通りただ末席を汚して来た私に「分区代理をやれ」とのことで、分区代理の仕事の

内容も全然判っていなかったのですが、何にか公式にはそういう制度はないので、ガバナーのお手伝いをすればよろしいんだというような、先輩諸氏からのいとも手軽な話に「それなら」とこれまた気軽にお引受けした次第でした。

さて、引受けた途端にいろいろ書類が参りまして、読んで見ますと、これは大変私のようなズボラに務まるかどうかと正直泣きたいような気持ちでした。

そんな気持でスタートした訳ですが、さて何にをどうしてよろしいか勝手がわからず、ホト

ホト困って毎日をすごして来ました。幸いに山田ガバナーの温いお気持ち、さわやかな心情に何時しかとけこむように心の傾斜がロータリーへ向かい、この1年出来るだけの努力をしてみよう、たとえ微力ではあっても、受持った地区のロータリーのためにいくらかでもよかったと言われるようにと、私なりに無我夢中でどうにか、今日まで任期の大半を過ごさせて頂いて参りました。

顧みるとガバナーのお供で、また事前に各クラブを巡ったりしたその間、ロータリアンの皆様からは終始友情のこもったお交際をいただき、楽しいことばかりで感謝しております。

本当にロータリーに入ってよかった。分区代理をつとめさせて頂いて幸せだったと、今しみじみと感じています。

まだ、私にとって I. G. F. はじめ大切な行事が残されていますが、その残された仕事と任期を貴重なものとして、受けとめて行きたいと思っています。

終りに、山田ガバナー始め赤津地区幹事その他の諸先輩ロータリアンのご指導に対して、心からお礼を申し上げる次第です。

■1676—1677年度地区協議会のご案内

来る6月27日(日)に、長野県上田市において上田クラブをホストとして、地区協議会が下記のとおり開催されることになりました。関係者は、万障お繰り合わせのうえ、ご出席お願い申し上げます。

なお、地区諮問委員会、前夜協議会、夕食会は6月26日(土)午後4時より、上田市別所温泉・和泉屋旅館において開催されます。

- | | | | |
|------|----------|--------------------------------|--|
| 1. 日 | 時 | 昭和51年6月27日(日) | { 登 録 8.30~9.30
本会議開始 9.30~終了 15.30 |
| 1. 場 | 所 | 本会議室：上田市民会館 電話 上田 0268-22-0762 | |
| | 分科会場グループ | I — クラブ会長部会 | 市民会館2階ホール |
| | 〃 | II — クラブ幹事部会 | 市民会館本会議場 |
| | 〃 | III — クラブ奉仕部会 | 上田市消防署ホール |
| | 〃 | IV — 職業奉仕部会 | 上田商工信用組合ホール |
| | 〃 | V — 社会奉仕部会 | 上田高校同窓会館ホール |
| | 〃 | VI — 国際奉仕部会 | 上田市農協ホール |
| | 〃 | VII — クラブ会計部会 | 上田商工会議所ホール |

- | | | |
|----------|-----------------|-----------|
| 1. 登 録 料 | 1 クラ ブ 負 担 金 | ¥ 45,000円 |
| | 一 般 参 加 者 お 1 人 | ¥ 6,000円 |

1. ホ ス ト 上田ロータリークラブ

1. 参 加 者

- (1) 特別出席者

地区ガバナー
地区ガバナーエレクト
地区ガバナー候補
パストガバナー
地区会計長
アドバイザー
リーダー
アシスタント・リーダー
現・次期地区幹事
現・次期分区代理
現・次期地区委員長

- (2) 出席義務者

次期クラブ会長
次期クラブ幹事
次期クラブ奉仕担当理事
次期職業奉仕担当理事
次期社会奉仕担当理事
次期国際奉仕担当理事
次期クラブ会計

- (3) 一般参加者

1. プ ロ グ ラ ム

8:30	登 録	テ ー マ
9:30	本 会 議	「共に奉仕する我等の年度」
	開 会 点 鐘	10:30 移 動
	国 歌 斉 唱	10:50 分 科 会
	ロータリーソング「奉仕の理想」	テ ー マ「我等の任務」
	開 会 の 挨 拶	グループ I — クラブ会長部会
9:40	地区ガバナーによる歓迎の辞ならびに紹介	グループ II — クラブ幹事部会
		グループ III — クラブ奉仕部会
9:50	地区ガバナーの挨拶	グループ IV — 職業奉仕部会
10:00	地区ガバナー・エレクトのことば	グループ V — 社会奉仕部会
		グループ VI — 国際奉仕部会

グループⅦ——クラブ会計部会

12:00 昼 食

12:50 分 科 会

テーマ「我等の行動計画」

14:30 移 動

14:50 本 会 議

次期ガバナーエレクトの挨拶

地区ガバナーの挨拶

次期ホストクラブ代表挨拶

ロータリーソング「手に手をつないで」

閉 会 の 挨 拶

閉 会 の 点 鐘

15:30 散 会

分 科 会	リ ー ダ ー	アシスタント リーダー	アドバイザー	オブザーバー
① 会 長 部 会	藤 原 (ガバナーノミニー)	山 田 (ガバナー)	神 野 (P.G.) 原 (P.G.)	墨 末 芳 (次期分区代理)
② 幹 事 部 会	赤 津 (地区幹事)	夏 目 (分区代理) 三 井 (次期地区幹事)	内 藤 (P.G.) 森 (G.N.)	下 郷 弥太郎 (次期分区代理)
③ クラブ奉仕部会	桃 沢 (分区代理)	大 竹 (分区代理)	滝 沢 (P.G.) 伊 藤 (P.G.)	野 沢 東三郎 (次期分区代理)
④ 職 業 奉 仕 部 会	田 辺 (分区代理)	島 (分区代理)	安 野 (P.G.)	山 田 真 一 (次期分区代理)
⑤ 国 際 奉 仕 部 会	渡 辺 (分区代理)	小 玉 和 夫 (次期地区世界 社会奉仕委員長)	鮎 谷 (I.P.G.)	樋 口 美 典 (次期分区代理)
⑥ 社 会 奉 仕 部 会	小 森 (分区代理)	鈴 木 武 二 (次期地区青少年奉 仕委員会副委員長)	佐 藤 (P.G.)	小 口 進一郎 (次期分区代理)
⑦ 会 計 部 会	中 井 (次期地区資金委員長)	松 井 (次期会計長) 伊 藤 (名古屋港R.C.) 幹事	近 藤 (P.G.)	北 原 克 巳 (次期分区代理)

■地区ロータリーの友編集委員よりお願いとお知らせ

第360地区ロータリーの友編集委員 石川 和昌 (豊橋)

1. 英文「ロータリーの友」の有効利用をどうぞ。

現在第3号まで発刊されているこの雑誌は、外国人に真の日本を理解させるためのものです。

国際奉仕委員会の僅かな予算で、立派な国際理解が達成されます。

姉妹クラブや海外訪問先へ、また来訪外国人にお贈り下さい。

一部500円、申込先「友」編集事務局。

2. ロータリー美術館の活用をお願いします。

1部8,000円の美麗なこの本は、スピーカーへの記念品としてご利用下さい。

また、市、町、村や学校の図書館へ寄贈していただければ、立派な社会奉仕になります。僅かな費用で思わぬ効果をあげることが出来ます。

申込先「友」編集事務局。

3. 趣味の欄の投稿

新年度7月号より趣味の欄が充実されますので、会員の方々よりコレクション、写真、書、絵、川柳、何でも結構ですから奮ってご投稿下さい。

■第2回 G. S. E 折井リーダーよりお便り

各地で大歓迎を受け、一同元気で旅を続けております。

第一信（3月21日付）

冠省、出発に際しましてはお見送り、また壮行の宴等数々のご厚情、心からお礼申し上げます。

一同極めて元気で充実した第一週を終えました。一見多少の余裕があるやに見えましたスケジュールも極めてタイトで夜も各家庭で、職場見学、食事に外出、討論等で第一報が遅れました事をお詫び申し上げます。

① San Diego 空港には Gov. Murdock 夫妻、GSE 委員長 Stockdale 夫妻（以下 Don）財団委員長 Thomas 夫妻、分区代理 Fuler 夫妻の出迎えを受け直ちに記者会見があり（San Diego Union）しました。

なお、Los Angeles 空港で4時間程時間がありました。その間わざわざ出迎えに来た Camerillo RC 会長 Dacaney 夫妻と話し合ったり加州日報の記者会見がありました。両記事については後日お目に掛けます。

② スケジュールについては、何しろ相手変われど主変わらずで、熱烈歓迎を反映して極めて多忙であります。もちろん、Don が中心であります。四名の分区代理が良く働いて居ります。

③ 例会への出席は旅程の上で余り重点を置いていない様、見受けられます。今日までの一週間に、一応 South East を中心とする三クラブの合同例会に出席しスライド映写を行ないました。

例会は何時に始まりいつ終わったか判然としない感じで、日本の RC のそれと対比すると奇異の感を受けますが、一方なごやかさについては数段勝るものがあると思います。

④ ホストファミリーについては、一人一家庭二/2日宛をベースに考えている模様です。

各家庭共、比較的同程度に見受けられますが二人で一つのベッドというケースもあり、安眠出来なかった様であります。

食事については全員 enjoy している様子で問題ございません。

⑤ 持参致しました名刺がこんなに役立つとは

思いませんでした。また、受取る方からも極めて好評であります。

桜のマークも大好評で陽気なアメリカ人にはピッタリで、一同一生懸命頑張っております。頑張った瞬間から友情が、交流が始まる感じであります。

⑥ San Diego の町は極めて美しく気候も四季大差ない温暖さで（雨量年間30cm程とか）あります。したがって、退職海軍軍人を中心に全米各地より老後を過す人々が集まり、年々人口増加中の由であります。観光地としても見るべきもの多く、観光客も大勢見受けられます。当地に派遣された事を心から喜んでおります。

⑦ 昨夜は Don の協力を感謝する意味で夫妻を夕食に招待致しました。

Don も Tax Consultant として4月15日のべ切を前に極めて多忙の様子ですが、その中で良くやってくれております。

D360 への派遣選考は秋に行なうと申して居りますが、D360 の選考方法、オリエンテーション等当方事情を良く話しておきました。Gov. Murdock から山田ガバナー並びに鮎谷委員長へ呉々もよろしくとの事であり。特にガバナーとフロリダのガバナー教育でご一緒し、ご家族の事も併わせ良く覚えているとの事です。また、当地商工会議所国際部部長のレミ・C・オカノー（Remi C. O'Lonnor）氏より鮎谷委員長殿に、なつかしくてたまらぬ是非よろしくとたどたどしい日本語でメッセージがありました。

第二信（3月27日付）

涙の出る位暖かい歓待と熱心なご案内でヘトヘトの状況でございますが、一同若さで何とかカバーして連日頑張っておりますからご安心下さい。

夫々ホストファミリーが極めて良い人々で良くしてくれます。当地習慣か、パーティーが多く夜が晩くなり勝ちの上、早朝から集合時間まで一寸俺の土地を見せよう、公園を見せよう等

々好意のご案内があり、スケジュールも紙の上では一見楽のようでも、時間の許す限り、此処も彼処もと引き回してくれるので過密ダイヤと相成り、筆を取る時間が無くご無沙汰申し上げた次第、何卒お許し下さい。

- ① 当地は全米一過し易い気候との事でリタイヤーした実業家と軍人（主としてネーバル及びマリーン）が多く、金持ちの暮し振りは映画の通り驚くべきものです。

また、一見何んでもない老人が元スリースターのアドミラルやジェネラルでいとも気易く我々を引き回してくれますが、前身を考えると恐縮の至りであります。

- ② 親日家・知日家故に案内役を買って出るのは判りませんが片言の日本語で一生懸命サービスしてくれ、また日本に行った事があると言う人が多いのに驚きます。

- ③ 大きなクラブは老人が多く、田舎のクラブ、小さいクラブは若い人が多いようです。

ポールハリスフェローには極めて熱心で、フェローになるとパーティーを開いて祝うようです。

例会のあり方、プログラム、食事、スマイルボックス、費用等話し合いをしたが、日本の方が奉仕活動はやや熱心のように感じます。

El Camino Real R. C. (45名) の例では	
ランチ	\$3.25 1回 約\$180. — 1年
ファイン	” \$ 60. —
財 団	” \$ 10. —

約\$250. — 1年

と言ったところが平均的のようで、此の他はDonation（寄附）で賄われるようでございます。

- ④ 日報をチェックしているところに依れば、各人夫々各ホストの割で十二分に個人対個人のおつき合いをし、且つ楽しんでいるようでございますからご安心下さい。

今日は土曜日で、夫々水泳・テニス・ドライブに出たようです。小生はSan Diego からかけつけて呉れる Stochdale G.S.E委員長とHostのBob（全米で有名なパイロット、退役後は軍・政治関係の漫画家として有名な仁）昨年G.S.E.

リーダーとして南米へ行ったGeneとこれからゴルフに出ます。

第三信（3月30日付）

- ① その後一同元気で旅を続けておりますので他事乍らご安心下さい。チームワークも満点に近く、夫々割当てられた任務を十分果たし毎日のレポートも詳細であります。

毎朝バロンが電話で一回り健康状況他のチェックをしてくれ、必要に応じ薬を持参してくれますが一同極めて健康であります。

- ② D534 は既にオーストラリア、フランス、東南アジア、ブラジルと G. S. E. を交し、また Y. E. P. にも熱心で極めて手なれた感じであります。

従って、スケジュールも一応 G. S. E. 委員会の手元で練られ、過密とならぬ配慮がされているようですが、各クラブ、各ホストに至るとついつい好意と熱心さの余り、ここもあそこもと云う事になり、加えてパーティが非常に多く、パーティの無い日を数えた方が早やそうです。

- ③ 見学の前にオリエンテーション、後に質問及び討論の機会を附してくれるので助かります。相手が驚くほどチーム一同熱心に質問を出し、日本のそれと比較し話合っております。

- ④ 当地の過去の経験から、ロータリーの例会ばかり多く出ても仕方がないと云う考え方のようです。

従って、2, 3クラブの joint meeting を開いてくれております。今まで3回例会に出席致しました。

今日は Escondido と Escondido East の例会に出席、メンバー夫々感想を述べましたが……。

- a) ヒ ロ……余り素晴らしい処なので日本を脱出して、ここへ来て住みたい。

ヨ シ……日本へ帰ったらワイフを大切に致します。

バロン……（シンボルマークの意味を問われ）色々な説明をする事になっているが、今日は警察へ見学に行ったので署長に無実の

シンボルと説明しました。

等々の発言で、どっと沸き殆んどメンバーが握手しに来てくれました。

④ 例会の進行は決まったスタイルがないようですが、日本と一番違う点は和気あいあいと云う処でしょうか。

⑤ ホストファミリーは1人一家庭二泊ベースのようで、夫々別れる際は泣きの涙と云った場合もありますが、小生既に六軒目を数えますが、いづれもロータリアンでリーダーと云う訳か、ご老人の家ばかりで緊張せざるを得ません。

殆んど連夜友人、親類等を集めてパーティーで、まさに Person to Person を実行しております。目下 P. D. G. の Tom Page 氏宅にあり、非常に熱心な且つ厳格なロータリアンで、昨夜は12時半までロータリーについて語り合いました。

(松本 R C、滝沢 P G と同期の方でした)

⑥ 3月30日午後6時より南部カリフォルニア(D534)のみがやっていると云う County Council に出席する機会を得ました。これは夫人同伴で誰でも出席出来る由ですが Tom Page 氏に依れば60%はクラブ会長、元会長、元 P G、地区委員等で4クラブが欠席(いづれも最下級、最悪とマークされているクラブ)の由です。

幹事の報告に依れば食券を買った人(買わなかった奴は何んだとの野次あり)228名。輪番で各クラブがホストとなり、必ず月一回行なわれるようです。

先ず一時間位、ワイワイ飲み、食事に入り、終わったところでロータリーを語る訳けですが、当日はニューオリンズ大会行きの件と新年度役員の発表及び R 財団 (G. S. E.) が主たる議題でした。

小生が5分程スピーチスライドを映写しました。数カ所で大きな笑いや拍手が起り大成功でした。

バロンもメンバーを代表して所感と謝意を述べました。

居並ぶロータリアン、着飾った令夫人達を前に Beautiful Ladies, Governor, Mr.

Presidents, and fellow members of

Rotarian……と演説する機を得て一生の思い出と存じます。(以上粋抜)

■ロータリー財団奨学生のお便り

1976年3月25日

久納 康嗣(一宮北 R. C. 派遣)

今ちょうど、4日間の旅行から帰ってきた所です。今回はそのことについて書きます。今はちょうど春休み中で大学の International Student Series がこの旅行に連れていってくれました。

最初は Zions 国立公園 へいった。途中はずっと砂漠で、サハラ砂漠のようではないが、5時間以上も砂漠の中を走ったので、同じ所を何回も走っているのではないかと思った。Zions 国立公園は多少岩が高いだけで、大したことはなかった。

ユタ州南部の Saint George という町で一泊した。23日は、アリゾナとネバダの境界にあるフーバーダムへいった。ここは、かつて世界最大であったが、今は、アメリカとヨーロッパで最大であるだけで、黒四ダムよりも小さいように思う。

Mead 湖へ立ちより、ネバダ州ラスベガスへいった。ここで2泊したが、夜9時ぐらいから、みんながギャンブルをしにいくのについていった。ぼくは一銭たりとも使わなかった。5人に1人くらいの割合でもうかっているように思った。もうかったものでも1,000円ぐらいもうけたのが限度で、大ていだれでも20,000円ぐらい損していた。それにしてもラスベガスのネオンサインは、まさに100万ドルの夜景であった。この夜景はどの国立公園よりもすばらしかった。夜半すぎ1時ごろに帰ったのであるが、みんなものすごい怒りようであった。大損をしてみんなのぐちを一晩中きかされた。

24日は Death Valley へ行った。ここは、北半球で一番低い所として有名である。ユタで雪が降っていたのに、ここは35℃を越える猛暑で、避寒地となっており、水泳をしているのを見かけた。そして、きょうラスベガスから一路ソルトレーク市へ帰ってきた。やっぱり北は冬であった。雪が積もっていた。

■世界社会奉仕に参加

- 尾張第二分区は、第314地区のインド Khopoli R. C. から要請のあったプロジェクトNo.1119, 井戸建設のための援助資金として 453,680 円を送金した。(2月)
- 南信第一分区は、プロジェクトNo.876に参加。パキスタンに対する血液及びワクチン用冷蔵倉庫購入資金として302,000円を送金した。(3月)
- 稲沢 R C は、マレーシアの Kajang R. C. から申し出があった、世界社会奉仕プロジェクト No.1102 —— “奨学金援助” に参加、\$ 420を送金した。
- 豊橋 R C はバンクラデッシュ職業訓練所資金、プロジェクトNo.1242に参加、500,000円を送金した。(4月)
また、地区としては
 1. インド地方大学 3 クラス増築資金 (プロジェクトNo.1047) 300,000円
 2. フィリピン高校生への奨学資金 (プロジェクトNo.1105) 90,000円
 合計390,000円の援助を行なった。(4月)

■4月22日～28日は米山週間です

財団法人ロータリー米山記念奨学会では、米山梅吉氏が亡くなられた昭和21年4月28日を記念して、毎年4月22日から28日までの一週間は米山週間と定めています。

この週間を通じ、米山奨学会の事業に対するなお一層のご協力をお願いかけて下さい。

■米山記念奨学会へ特別寄付

当地区より3月中に下記のとおり特別寄付がなされました。ご貢献に対し深甚の敬意を表します。

3月8日	平野 賢治 (豊橋)	300,000円
3月15日	夏目平三郎 (")	300,000円
"	堀 重助 (")	300,000円
3月17日	中嶋 幸一 (岡崎南)	20,000円
"	中村 繁男 (")	10,000円
"	豊橋北クラブ	123,000円
3月26日	河合 圭吉 (豊橋)	300,000円

■昭和51年度米山奨学生決める

昭和51年度米山奨学生選考試験は、去る3月22日(月) ホテルニューナゴヤにおいて行なわれ、次のとおり決定しました。

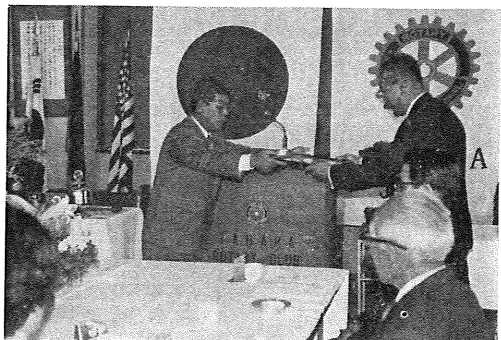
1. 選考委員

山田ガバナー、安野米山記念奨学会常務理事 佐藤、鮎谷両バスターガバナー、藤原ガバナーノミニー

1. 昭和51年度米山奨学生

No.	氏 名	支給期間	世 話 クラ ブ	備 考
1	鄭 慧 珍	昭和51年4月- 昭和52年3月	名古屋南	新 規 給 支
2	紀 美 玲	昭和51年4月- 昭和52年3月	名古屋港	"
3	金 成 植	昭和51年4月- 昭和53年3月	名古屋中	"
5	アイジャー ペーガム	昭和51年4月- 昭和52年3月	名古屋	"
6	頼 貞 秀	昭和50年4月- 昭和52年3月	名古屋	継 続 給 支
7	グエン・グオ ク・アンジェ	昭和50年4月- 昭和52年3月	名古屋合	"
8	トラン・キ ム・メン	昭和50年4月- 昭和52年3月	名古屋東	"

■田原クラブ創立15周年記念例会開催



去る3月26日(金)午後12時30分より例会場において、田原クラブ創立15周年記念例会が簡素なうちにも厳かに挙行された。

当日は、山田ガバナー、赤津地区幹事、小森分区代理、森特別代表(ガバナーノミニー候補)三河第一分区各クラブ会長ほか多数の来賓と会員が列席、記念品及び感謝状の贈呈等多くの記念事業の発表があり、めでたく終了した。

■飯島クラブ創立10周年記念式典挙行



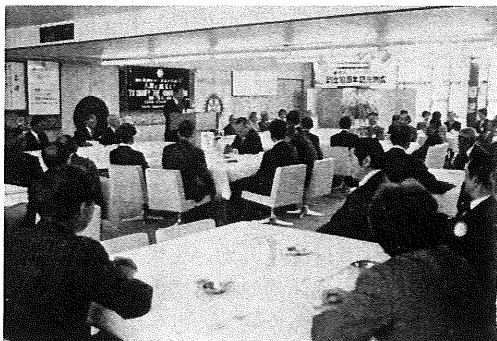
去る3月28日(日)午後1時より辰巳屋建設会館において、飯島クラブ創立10周年記念式典が厳粛裡に挙行された。

当日は、山田ガバナー、近藤、滝沢、安野、原各バストガバナー、芦部特別代表、桃沢分区代理、元分区代理、南信第二分区各クラブ会長ほか地元の県会議員、町村長、警察署長、小中学校長、商工会長、婦人会長等を始め報道関係者、会員家族計約150名が列席、簡素ながらも地域あげての素晴らしい式典が盛沢山のプログラムより進められ、めでたく終了、引続き祝宴が行なわれた。

なお、記念事業として下記の贈呈がなされた。

1. ローター財団寄付 金20万円也
2. 中川総合中学校へ庭園
3. 飯島町老人福祉センター千寿荘会議用テーブル 24台
4. 飯島町救急車用サイレン 1基
5. 飯島町保育園へ遊具 ヘリコプター型2台
" 運動馬 4台
" 平均台 3台
6. 駒ヶ根警察署パトカー用拡声器 1基
7. " 駐在所へ石油ストープ 4台
8. 伊南交通安全協会飯島支会へ
カーブミラー 2基
9. 飯島町剣道部へ剣道防具 10組
10. 飯島町柔道部へ柔道用畳 30畳
11. ボーイスカウト結成資金 金30万円也

■豊橋南クラブ創立10周年記念例会開催



去る4月5日(月)午前11時より例会場において豊橋南クラブ創立10周年記念例会が挙行され、山田ガバナー、神野、安野両バストガバナー、森ガバナーノミニー候補、赤津地区幹事、

小森分区代理、山口特別代表、三河第一分区各クラブ会長幹事を始め、豊橋市長、豊橋商工会議所会頭、姉妹クラブのフィリピン、サンファンRC代表、報道関係者ほか多数の来賓と会員が参列した。

なお、各種表彰のほか、記念事業としてチャリティー音楽会の開催、記念植樹、反響板寄贈が発表された。

■ガバナーノミニー事務所開設のお知らせ

1976—77年度国際ロータリー第360地区ガバナーノミニー事務所は次のとおり開設されました。

所在地 〒392

長野県諏訪市湖岸通3〜2〜9

ぬのはん内

電話 (02665) 8—3609

開設 昭和51年3月25日

(午前9時〜午後5時、土曜日

は午前中)

なお、昭和51年7月1日より自動的にガバナー事務所となりますのでご了承下さい。

ガバナーノミニー 藤原 正男

次期地区幹事 三井 章義

■藤原ガバナーノミニー5月23日出発

藤原ガバナーノミニーは、フロリダ州ボカ・ラトーン・ホテル・アンド・クラブで開催される国際協議会及びニューオーリーonzの国際大会に出席のため、5月23日(日)17時発日本航空002便で出発されます。

目下、準備でご多忙の毎日ですが、安全など旅行をお祈り申し上げます。

なお、6月20日(日)帰国の予定です。

■岡崎東・岡崎南の2クラブに財団寄付率1.500%達成の額贈呈

財団寄付率1.500%達成の感謝の額がロータリー財団管理委員会より、岡崎東・岡崎南の2クラブに贈呈されました。

ご貢献に対し深甚の敬意を表します。

■豊川クラブ台湾・岡山クラブと姉妹締結再調印

4月10日、台湾・岡山クラブの例会場にて、姉妹締結再調印の式典が行なわれ、当クラブから真野会長ほか6名が渡台参列、13日無事帰国された。なお、当日山田ガバナーのメッセージが志賀次年度会長より代読された。

■第4回地区諮問委員会開催

日 時 昭和51年3月22日(月)16:00~19:30
場 所 ホテル ニューナゴヤ 9階3号室
出席者 ガ バ ナ ー 山 田 市三郎
パ ス ト ガ バ ナ ー 内 藤 卯三郎
近 藤 友右衛門
滝 沢 卓 夫
伊 藤 次郎左衛門
佐 藤 知 雄
安 野 譲 次
原 享 二
直 前 ガ バ ナ ー 鮎 谷 賢太郎
ガ バ ナ ー ノ ミ ニ ー 藤 原 正 男
地 区 幹 事 赤 津 賢太郎
次 期 地 区 幹 事 三 井 章 義
次 期 地 区 資 金 委 員 長 中 井 武 雄

議 題

1. 訪日ノルウェー少女合唱団について
第353地区企画の国際親善事業協賛について滝沢PG及び原PGより説明があり、その受入れをする用意のある当地区内のクラブ（名古屋RC、豊橋RC、松本RC、飯田RC）に対して、山田GVより文書を以て協力方依頼することにする。
2. 地区協議会について
 - (イ) リーダー、アシスタントリーダー及びアドバイザーの委嘱同案提出し、委員の諮問をうけ一部修正の上決定。
 - (ロ) 国際会議議題について
藤原ガバナーノミニーより議題の件につき委員会よりの指導を求めた。
 - (ハ) 分科会について
赤津地区幹事よりR.I.よりの分科会指

導要領の報告あり、本地区もその指導方針通り、会長、幹事及び四大奉仕部門に加え会計部門会を開催することの同意を得た。

(ニ) 出席義務者の確認

3. 次年度予算案について

藤原GNより、次年度予算作成について、その改正案主旨の説明あり、次年度地区資金委員長中井武雄君より次期地区資金委員会作成予算案につき検討を求めた。慎重審議の後一部修正し最終予算の決定を行なった。

同予算案は本年6月27日の地区協議会に於て、その同意を得て正式に次年度予算となる。

4. 次年度会長幹事会開催について

藤原GNより開催希望の主旨説明あり、本諮問委員会は同意をした。

A 愛知県 開催日 昭和51年4月24日
14:00—16:00

場 所 名古屋観光ホテル

B 長野県 開催日 昭和51年4月30日
14:00—16:00

場 所 ホテル 富貴の湯

5. 次年度地区委員構成につき最終検討と一部の改変を行なった。

6. グアテマラ震災義援金について

R.I.事務総長より頭書の件につき具体的指示があったので、地区としては、分区単位の義援金募集を行ない、地区一括の後送金することを決め、そのことを次回月信に記載することにした。

7. 1978—79年度地区ガバナーの指名準備について話し合った。

8. 地区万国旗保管について

保管責任者は該年度地区幹事であることを確認し、その具体的処理方法については三井次期地区幹事に規定案の立案を依頼した。

9. ロータリーの友石川委員よりの依頼事項

ロータリー美術鑑及びロータリーの友英語版の販売促進の依頼があるので、ガバナー月信を通じ協力すること。

敬 弔

次の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

蔵谷長七君（中野）中野土建(株)社長

昭和51年3月16日逝去 76才

山口昇君(名古屋)愛知トヨタ自動車(株)会長

昭和51年3月20日逝去 79才

福井武二君（豊橋）豊橋燃糸漁網(有)社長

昭和51年3月26日逝去 72才

舟橋金造君（名古屋西）

シャチハタ工業(株)会長

昭和51年3月27日逝去 80才

磯部鎌一君（名古屋）名古屋商工会館社長

昭和51年3月30日逝去 76才

富田小次郎君（蒲郡）名誉会員

昭和51年4月6日逝去 79才

■ボールハリスフェロー誕生

深く敬意を表しますと共に心からお慶び申し上げます。

315号 伊 藤 義 一（名古屋港）

316号 加 藤 参次郎（津島）

317号 小野寺 秀 和（名古屋空港）

318号 中 島 信一郎（木曽）

319号 大 竹 和 美（あま）

320号 大 谷 宥 全（松本西南）

321号 大 沢 昌 子（名古屋北）

322号 石 原 辰太郎（岡崎）

323号 （故）長苗三郎（名古屋南）

324号 久 郷 三 郎（名古屋北）

325号 高 安 康 祐（飯田）

326号 森 清（名古屋港）

327号 大 沢 秀 雄（豊川）

328号 長 坂 民 蔵（飯田）

329号 後 藤 十次郎（岡崎）

330号 小 嶋 洋 一（東海）

331号 江 口 光 吉（小牧）

3月会員数及び出席率（51年4月10日現在）

順位	ク ラ ブ 名	会 員 数	出 席 数	例 会 数	前 月 順 位	前 月 会 員 数	増 減
1	豊 橋	104	100	4	30	104	
1	名 古 屋	94	100	4	1	92	+ 2
1	豊 田	87	100	4	1	87	
1	松 本	79	100	5	1	79	
1	飯 田	69	100	5	20	68	+ 1
1	犬 根	65	100	5	1	65	
1	駒 ヶ 木	64	100	5	1	64	
1	安 城	61	100	4	28	61	
1	飯 田	59	100	4	1	60	- 1
1	豊 橋	54	100	5	19	55	- 1
1	豊 田	53	100	5	1	53	
1	辰 野	43	100	5	1	43	
1	尾 張	42	100	4	1	42	
1	輕 井	38	100	5	1	38	
1	戸 倉	32	100	4	1	32	
1	飯 島	31	100	5	1	34	- 3
17	名 古 屋	105	99.76	4	1	105	
18	津 島	70	99.61	4	23	69	+ 1
19	碧 南	69	99.42	5	1	69	
20	刈 谷	67	99.37	5	37	68	- 1
21	豊 橋	93	99.35	5	17	94	- 1
21	松 本	77	99.35	4	1	74	+ 3
23	名 古 屋	84	99.25	5	18	83	+ 1
24	岡 崎	59	99.15	4	42	60	- 1
25	あ ま	65	99.08	5	34	66	- 1
26	小 諸	51	99.02	4	48	50	+ 1
27	瀬 戸	72	98.89	5	31	69	+ 3
28	岡 谷	54	98.80	5	29	54	
29	春 井	76	98.69	4	22	73	+ 3
30	名 古 屋	104	98.54	5	41	105	- 1
31	浦 那	70	98.53	3	61	71	- 1
32	伊 那	67	98.50	4	24	65	+ 2
33	西 春	53	98.48	5	32	51	+ 2
34	名 古 屋	75	98.39	5	39	75	
34	名 古 屋	62	98.39	5	35	62	
36	名 古 屋	56	98.21	5	1	56	
37	長 野	75	98.14	5	52	75	
38	長 野	67	98.03	5	44	67	
39	西 岡	67	97.81	5	25	67	
40	岡 崎	74	97.74	5	58	75	- 1
41	岡 崎	41	97.56	4	49	41	
42	常 滑	50	97.50	4	33	50	
43	小 牧	48	97.39	4	57	48	
44	小 牧	53	97.36	5	26	53	
45	名 古 屋	75	97.33	3	40	75	
46	名 古 屋	131	97.31	4	21	131	
46	稲 沢	53	97.31	5	38	53	
48	一 宮	72	97.20	4	36	72	
平均出席率=97.06%							
49	一 宮	87	97.00	4	46	87	
50	東 知	41	96.75	3	54	43	- 2
51	大 江	62	96.74	5	63	61	+ 1
52	大 江	59	96.55	4	27	58	+ 1
53	富 士	28	96.42	4	68	28	
54	田 原	48	96.35	4	62	48	
55	南 佐	28	96.34	5	60	27	+ 1
56	上 田	60	96.28	5	45	61	- 1
57	半 田	67	96.25	4	52	66	+ 1
58	尾 西	42	96.19	5	59	42	
59	名 古 屋	65	96.02	5	50	65	
60	諏 訪	56	95.98	4	55	56	
61	東 海	47	95.76	5	43	47	
62	名 古 屋	76	95.73	4	51	76	
63	白 馬	30	95.00	4	70	30	
64	松 川	36	94.86	4	46	34	+ 2
65	丸 子	35	94.28	4	72	35	
66	新 城	46	94.02	4	65	46	
67	新 名 古	219	93.39	5	66	219	
68	高 松	42	92.78	5	56	42	
69	松 本	39	92.38	5	64	39	
70	奥 三	37	90.99	3	71	37	
71	中 野	40	89.00	4	69	41	- 1
72	渥 美	45	87.52	5	67	45	
73	木 曾	44	86.37	5	73	44	
74	木 曾	26	74.04	4	74	26	

会員数 4,615名 純増 9（累計251）

1976—'77年度地区役員及び委員会委員

		◎委員長		○小委員長		※副委員長	
地区幹事	地区諮問委員会	三松 滝伊藤 佐安 原鮎山 内神 近藤 山鮎 原安 下墨 野山 樋小 北	井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	章澄 卓左衛門 雄次二 郎三郎 太右衛門 正市三郎 二賢 享讓 弥太郎 芳三郎 一典 克	義寿 夫門 雄次二 郎三郎 太右衛門 正市三郎 二賢 享讓 弥太郎 芳三郎 一典 克	(名古 屋東 宮田) (名古 屋南 崎橋) (名古 屋訪 南屋 田宮) (名古 屋東 宮北 色諸 谷川)	訪(訪) 本(屋東 宮田) (名古 屋南 崎橋) (名古 屋訪 南屋 田宮) (名古 屋東 宮北 色諸 谷川)
地区指名委員会		森北 小池 桃安 吉後 前原 池清 堀小 滝加 伊高 島大 鈴石 川田 夏	林上 沢野 原藤 田上 水田 田沢 藤藤 橋竹 木井 瀬田 夏	泰秀 益真 茂讓 久新 長享 英芳 逞卓 邦健 得恒 和敏 三郎 武保 幸一郎	樹之 三通 雄次 夫三 八二 雄二 満夫 郎兄 三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	(豊春 小松 飯一 津飯 名辰 豊蒲 松長 豊名 松あ 上名 古屋 常長)	橋井 諸南 島宮 田東 田野 北郡 本野 橋西 南ま 田南 港南 滑東)
クラブ奉仕委員会		◎森北 小池 桃安 吉後 前原 池清 堀小 滝加 伊高 島大 鈴石 川田 夏	◎林上 沢野 原藤 田上 水田 田沢 藤藤 橋竹 木井 瀬田 夏	◎泰秀 益真 茂讓 久新 長享 英芳 逞卓 邦健 得恒 和敏 三郎 武保 幸一郎	◎樹之 三通 雄次 夫三 八二 雄二 満夫 郎兄 三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(豊春 小松 飯一 津飯 名辰 豊蒲 松長 豊名 松あ 上名 古屋 常長)	◎橋井 諸南 島宮 田東 田野 北郡 本野 橋西 南ま 田南 港南 滑東)
職業分類委員会		◎安吉 後前 原池 清堀 小滝 加伊 高島 大鈴 石川 田夏	◎林上 沢野 原藤 田上 水田 田沢 藤藤 橋竹 木井 瀬田 夏	◎泰秀 益真 茂讓 久新 長享 英芳 逞卓 邦健 得恒 和敏 三郎 武保 幸一郎	◎樹之 三通 雄次 夫三 八二 雄二 満夫 郎兄 三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(豊春 小松 飯一 津飯 名辰 豊蒲 松長 豊名 松あ 上名 古屋 常長)	◎橋井 諸南 島宮 田東 田野 北郡 本野 橋西 南ま 田南 港南 滑東)
会員増強委員会		◎前原 池清 堀小 滝加 伊高 島大 鈴石 川田 夏	◎上水 田田 沢藤 藤橋 竹木 井瀬 田夏	◎長享 英芳 逞卓 邦健 得恒 和敏 三郎 武保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
拡大委員会		◎加伊 高島 大鈴 石川 田夏	◎伊藤 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎卓邦 健得 恒和 敏三郎 武保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
広報委員会		◎鈴石 川田 夏	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎敏三郎 武保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
職業奉仕委員会		◎田夏	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
ロータリー財団委員会		◎近藤 友右衛門 長一 福松	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎長一 福松	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
①財団教育補助金委員会		◎伊藤 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
②財団学友委員会		◎伊藤 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
③財団推進委員会		◎山植 北野 員谷 野内 井村 井	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
④研究グループ交換委員会		◎山植 北野 員谷 野内 井村 井	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
青少年奉仕委員会		◎佐鈴 会鈴 清加 志柳 渡梅 松小 中沢 山高山 会小 神矢 光水 井瓜 会小 加岡 河平 谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
①青少年交換委員		◎佐鈴 会鈴 清加 志柳 渡梅 松小 中沢 山高山 会小 神矢 光水 井瓜 会小 加岡 河平 谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
②インターアクト委員		◎渡梅 松小 中沢 山高山 会小 神矢 光水 井瓜 会小 加岡 河平 谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
③ローターアクト委員		◎中沢 山高山 会小 神矢 光水 井瓜 会小 加岡 河平 谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
世界社会奉仕委員		◎小神 矢光 水井 瓜会 小加 岡河 平谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
世界親睦委員会		◎小神 矢光 水井 瓜会 小加 岡河 平谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
米山記念奨学委員		◎小神 矢光 水井 瓜会 小加 岡河 平谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
雑誌委員会		◎小神 矢光 水井 瓜会 小加 岡河 平谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)
オンツーフランシスコ		◎小神 矢光 水井 瓜会 小加 岡河 平谷	◎井井 沢次郎 藤野 谷田 藤野 原田 谷野 郷 沢田 口原	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎三治 美俊 三郎 夫保 幸一郎	◎(名古 屋南 崎橋)	◎(名古 屋南 崎橋)

第360地区 財団寄付金一覧表 (1976.2.29現在)

(単位ドル)

クラブ名	会員数 1974	本年度累計 (USドル)	寄付額累計 (USドル)	順位 %	次の順位 への必要額	クラブ名	会員数 1974	本年度累計 (USドル)	寄付額累計 (USドル)	順位 %	次の順位 への必要額
あ ま	59	2,240.94	10,327.09	1700	292.91	名古屋 東	80	16,712.00	23,198.53	2800	1.47
安 城	57	1,959.28	6,019.30	1000	250.70	名古屋守山	71	1,062.72	10,955.90	1500	404.10
渥 美	60	379.28	1,370.82	300	1,029.18	名古屋 中	75	863.15	10,053.09	1300	446.91
尾 西	38	4,233.84	7,037.91	1800	182.09	名古屋 北	98	4,544.67	39,495.97	4000	684.03
富 士 見	27		1,251.50	500	368.50	名古屋 南	105	2,067.00	23,302.43	2200	847.57
蒲 郡	63	1,425.05	5,341.36	800	328.64	名古屋東南	70	2,000.00	12,320.81	1700	279.19
白 馬	24	1,000.00	1,290.00	500	150.00	名古屋和合	50	657.00	5,048.91	1000	451.09
半 田	68	380.74	7,749.51	1100	410.49	名古屋 西	135	2,320.00	16,238.77	1200	1,311.23
碧 南	67	1,733.68	11,633.59	1700	426.41	中 野	35	1,280.74	2,105.76	600	344.24
東 知 多	38	1,544.25	4,183.31	1100	376.69	西 春日井					
一 宮	81	2,622.20	10,955.67	1300	384.33	西 尾	64	2,108.00	8,220.64	1200	99.36
一 宮 北	70	1,137.84	7,006.60	1000	693.40	岡 谷	49	4,379.98	10,867.69	2200	402.31
飯 田	70	20.00	8,066.64	1200	1,033.36	岡 崎	77	2,905.00	23,376.54	3000	493.46
飯 田 南	58	2,516.89	6,057.35	1000	322.65	岡 崎 東	41	1,187.00	6,098.93	1400	51.07
飯 島	30	5,517.20	7,063.94	2300	136.06	岡 崎 南	60	2,479.99	8,908.34	1400	91.66
伊 那	63	10,344.80	12,129.82	1900	470.18	興 三 河	34	1,035.71	3,161.06	900	238.94
稲 沢	53	1,608.77	5,609.15	1000	220.85	大 町	60		2,825.43	500	774.57
犬 山	63	1,001.41	9,690.69	1500	389.31	尾 張 旭	39	1,752.20	5,209.82	1300	250.18
一 色	44	432.73	3,312.94	700	207.06	名古屋港	94	625.00	19,740.28	2100	939.72
刈 谷	70	68.00	9,428.00	1300	372.00	瀬 戸	67	2,067.00	11,103.70	1600	286.30
軽 井 沢	35	66.00	4,979.28	1500	620.72	新 城	39	1,280.00	2,715.99	600	14.01
春 日 井	71	1,845.59	7,537.49	1000	272.51	諏 訪	52	1,296.53	3,046.47	500	73.53
木 曾	42	1,090.99	4,787.89	1100	252.11	田 原	46	138.06	3,691.00	800	449.00
駒 ケ 根	64		24,974.36	4000	1,265.64	高 浜	44	362.35	2,822.33	600	257.67
小 牧	52	2,251.00	6,198.87	1100	41.13	辰 野	44	42.00	5,205.22	1500	1,834.78
小 諸	50	2,739.00	17,485.41	3400	14.59	戸倉上山田	29		965.65	300	194.35
江 南	53	65.00	5,047.02	1000	782.98	東 海	45		1,689.88	400	560.12
丸 子	36		1,623.73	500	536.27	常 滑	51	1,424.00	5,971.79	1100	148.21
松 川	34	656.27	2,858.07	800	201.93	豊 橋	99	4,424.26	30,790.38	3100	889.62
松 本	71	3,679.94	11,237.58	1500	122.42	豊 橋 北	86	2,621.99	16,753.91	1900	446.09
松 本 南	79	6,427.93	12,735.54	1600	694.46	豊 橋 南	52	575.00	8,443.14	1600	396.86
松本西南	36	3,342.40	4,223.35	1100	96.65	豊 川	58	1,432.48	6,647.84	1100	312.16
南 佐 久						豊 田	85	2,120.64	13,060.11	1500	539.89
箕 輪	20	82.75	643.48	300	156.52	豊 田 西	55	1,066.20	5,060.18	900	439.82
長 野	71	74.00	4,513.44	600	456.56	津 島	64	5,162.99	15,064.57	2300	295.43
長 野 東	61	741.32	3,844.96	600	425.04	上 田	58		3,968.82	700	671.18
名 古 屋	220	18,903.11	56,130.89	2500	1,069.11						
名古屋空港	72	4,844.65	7,364.65	1000	555.35	計	4381	158,970.51	679,853.55		

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING

人間に威信を！



山田市三郎

国際ロータリー第360地区
ガバナー事務所
〒460-91
名古屋市中区栄三丁目33-13

中京相互銀行7階

☎名古屋(052)262-6111 (交換)

☎名古屋(052)262-2505 (直通)

地区幹事 赤津賢太郎

(名古屋南ロータリークラブ)